

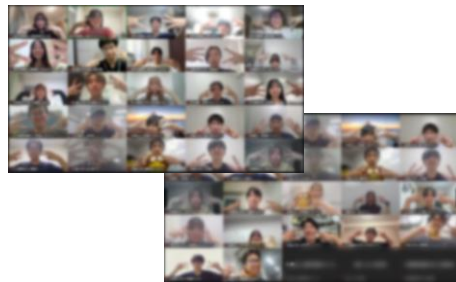
関西北陸ブロック 理事会学習会

概要

日程：2026/7/15(水)
場所：オンライン(Zoom)

参加者

富山大(12)、富県大(3)、立命館(4)
奈良女(1)、滋賀大(2)、滋県大(5)
阪電通(2)、兵県大(1)、和歌山(1)
学生事務局(7)、連合会(1)
計9会員39名

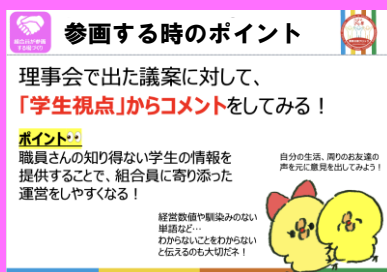


01 理事会を知る時間

理事会の役割や理事・監事としての視点を知る

この時間では、大学生協における理事会・理事・監事の役割や立ち位置について学びました。

理事会は何をする場所なのか、理事・監事としての役割・責任や「学生視点」の必要性を理解し、理事会の重要性や参画する際のポイントを知ることができました。



学生理事・監事は学生ならではの視点から発言することが大切だと知り、自分の役割が明確になって今後の活動の仕方がイメージできた。
(富山大2年)

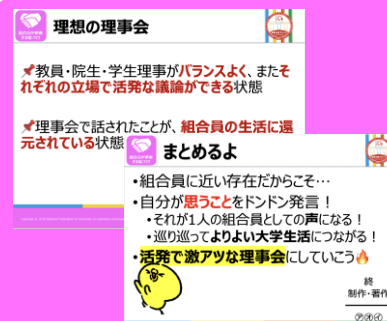
02 学びを具体化する時間

専務や先パイ学生理事・監事の想いを知る

この時間では、理事会を運営する専務理事がどのような想いを持っているのかについて知りました。

次に、実際に理事・監事を務めている学生の理事会参画において意識していた点や、理事・監事として発言したエピソードを聞きました。

さらに、「いい理事会」を言語化することで、目指すべき姿や今後の理事会参画へのイメージが膨らみました。



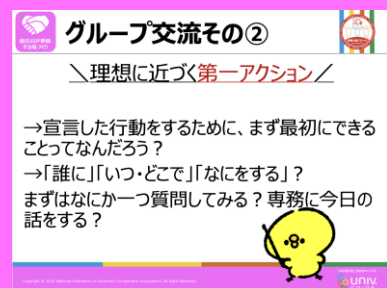
今まで曖昧だった「自分は学生理事としてどうあるべきか」を言葉として表せたので、今後の理事会が有意義なものになると思っています。
(立命館2年)

理想の理事会をつくる第一歩を宣言する

この時間では、学習会を通して学んだことや考えたことを踏まえて理事・監事としてどのように理事会に参画したいかを考え、行動宣言をしました。

また、行動を起こすために、まず最初に行えることとして「理想に近づく第一アクション」を考えました。

アンケートでは、「学習会に参加できなかった理事や、専務に向けても参加報告をしたい。」や「次の理事会で議案に対して質問をしたい。」など、今後の理事会や持ち帰りへの前向きな意見が見られました。



理事、組合員、前年度担当されていた学生理事に、直接、自分や学生が持つ少しの疑問でも相談するようにします。
(阪電通2年)